

令和4年度 学校評価 自己評価書 (1学期)

1 学校経営の重点

①学力定着に向けた授業改善, 主体的学習態度を育む指導
②時や場所を考えて適切に判断し, 行動できる力を育む指導
③安全意識を高め心身の健康を育む指導, 部活動の活性化
④諦めずに取り組む心や自他を大切にすることを育む指導
⑤一人一人の進路目標達成に向けた指導
⑥教育の情報化の推進, 情報モラルの遵守指導
⑦信頼される学校を目指した取組, 業務・職場環境改善の推進
⑧地域を生かした教育, 鶴岡第二中学校との交流推進

2 課題と改善策

※ 評価は職員による4段階評価の平均

	評価項目	評価	状況及び改善の方向
重点 ①	1 「確かな学力」の定着に向けた授業改善, 主体的学習態度を育む指導に取り組んでいる。	3.3	・ 教員の共通実践 (学習目標の明確化, 話し合い活動の充実, 振り返りの場の設定) を通して授業改善を進めているが, 定着を図る振り返りの場の充実が生徒評価から生徒自身に意識されていない状況があった。改善の中心として取組を続ける。
重点 ②	1 時や場所を考えて適切に判断し, 行動できる力を育てている。 2 自己有用感を高めるために, 生徒の良さを認めたり相談にのったりしている。	3.0 3.4	・ 学期後半では, 始業5分前着席ができていない生徒が前半より多くなる状況も見られた。学級専門部員が授業開始2分前着席を呼び掛けるなど, 生徒会が主体となった活動を続けている。2学期も生徒会と一緒に取り組んでいく。 ・ 不登校生徒には, 学習支援員紹介や心のパートナー派遣をしたり, 別室学習へ授業配信したりして学習を支援している。
重点 ③	1 安全意識を高め感染症対策も含めて心身の健康を育む指導に取り組んでいる。	3.3	・ コロナウイルス感染対策として2校時後に15分の手洗い・うがい時間を確保している。教室前の水道施設が不足する実態があるため, 校舎外の水道も割り当てて対応しているが, 徹底できていない状況があった。アルコール消毒も併せて対策に取り組んでいく。

重点 ④	1 自他を大切にし、困難にもあきらめない心の育成に取り組んでいる。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> いじめはアンケート等で全学年で発生している状況があった。被害等の状況はすぐに学年全体で情報共有し、保護者とも連携しながら学年全体や生徒指導部会で解決への協議を進めている。
重点 ⑤	1 一人一人の進路目標に応じた指導に取り組んでいる。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 学年の履修すべき内容は計画通り学習できている。キャリアパスポートは全学年で活用できた。今後も計画的に活用していく。
重点 ⑥	1 教育の情報化に取り組み、ICTを効果的、効率的に活用している。	2.3	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを活用した指導を進めているが、ネット環境に課題もあるため学年や全校で一斉に使用する際は、時間をずらすなど工夫している。1年生のタブレットは、2学期に全員分が揃う予定である。使用場面をより多くしていく。
重点 ⑦	1 教職員としての自覚と責務をもち、日々の教育活動に取り組んでいる。 2 教職員個々の業務改善の取組である、「1Try」は実践している。	3.6 2.9	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上に向けて、研究授業での協議や学力検査分析を生かした指導を充実させていく。 勤務時間外勤務45時間以内は6割以上の職員が達成している。生徒指導上の問題やコロナ陽性者対応で時間外が多くなった時期もあった。
重点 ⑧	1 地域の特色や人材・施設を生かした教育活動を行っている。	2.4	<ul style="list-style-type: none"> 学校支援ボランティアや人権擁護委員を活用した教育活動が実践できた。 地域行事では、実施判断にも協力しながら生徒の活躍の場を増やしていきたい。

3 2学期に向けての取組

- (1) 体育大会や文化祭等の学校行事では、コロナウイルス感染対策を講じる中ではあるが、生徒の自尊心や協力性を向上させるために可能な限りの活動を工夫したい。
- (2) 学習習慣、生活習慣の向上に向けては、生徒会が主体となって取り組む場を工夫したい。
- (3) 学力向上に向けて、研究授業での協議や学力検査分析を生かした指導を充実させるとともに、進路目標設定を具体的に進めさせ学習意欲の喚起を図りたい。